

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 地域包括ケアシステムと地域包括支援センターの今後について</p> <p>【質問趣旨】 現在本市では高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、日常生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの体制整備を進めている。地域福祉計画に、今後本市は地域に住むすべての人が役割を持ち、支えあいながら暮らし続ける環境を構築する、「すべての世代を支える地域包括ケアシステム」の構築に取り組むとしている。そのためには現在市内8か所の地域包括支援センターの更なる整備と各圏域内の地域団体や福祉事業者との連携体制を強化し、共通の目標を関係者間で共有することが必要と考える。介護予防事業の核となる地域包括ケアシステムの深化</p>	<p>(1) 地域包括ケアシステムの地域計画について</p>	<p>① 地域包括ケアシステムに関する現在までの取り組みに対しての評価と課題を、市が把握している実態を踏まえて具体的に伺う。</p> <p>② 地域福祉計画には、「現状把握と課題分析を踏まえて地域全体で目標を共有し、地域住民、医療機関、福祉関係者、行政等がより一層連携を強化して高齢者の支援に取り組む」とあるが、この計画で指す地域の単位と共有すべき目標を、全関係機関は認識しているか伺う。</p> <p>③ 地域単位での全関係機関の連携体制の現状の評価と、より一層の連携強化のための今後の方策を伺う。</p> <p>④ 本市が策定した地域福祉計画と瀬戸市社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画を連動させ、本市は地域福祉の推進に取り組むとしている。地域福祉活動計画の地域単位の小サロンの定期開催は自治会や地域力を所管するまちづくり協働課、福祉避難所の整備、充実は危機管理課が関与していくことになるが社会福祉協議会との連携と現状の課題を伺う。</p> <p>⑤ 地域包括ケアシステムの構築、深化における各々の段階において、今後はさらに投入できる財源や人的資源、時間が限られてくる。その中でより効果的効率的に取り組む、事業の優先順位を明確にするためには、地域が目指す目標及び事業推進の進捗を確認できる具体的な指標（目標達成に必要なアウトプット指標）を、地域ごとに設定していくことが重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥ 地域における共通の目標を達成していくためには地域包括支援センター圏域ごとに圏域の実情に即した目標、指標を備えた計画を作成し、圏域関係機関でPDCAサイクルを確認、共有させ目標に向けて絶えず繰り返すことが、地域包括ケアシステムの深化推進の速度を効果的に上げていくと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>推進のため、現状と課題を共有し今後の施策の方向性を質問する。</p>	<p>(2) 今後の地域包括ケアシステムについて</p> <p>(3) 地域包括支援センターの現状と今後について</p>	<p>① 今年3月に完成した本市オリジナル口腔ダンス「瀬戸の情熱」を地域包括ケアシステムの深化に向けて今後どの様に活用していくのか、伝道師の役割も踏まえて伺う。</p> <p>② 本市においての地域包括ケアシステムは現在まで対象者を高齢者に特化し体制整備を進めているが、地域福祉計画にはこの取り組みを進めながら、対象となる世代を広げ、子どもから高齢者、子育て、障がい者といったすべての世代を支える包括ケアシステムを構築していくとしている。そのためには地域に住むすべての人が役割を持ち、支えあいながら暮らし続けることができる環境を構築するとしているが、どの様に取り組んでいくのか、今後の取り組みを伺う。</p> <p>③ ②の取り組みを構築、推進していくことは6次総の幾つかの都市像の実現や今後益々増加が予想される扶助費の抑制に有効である。その実現のためには健康福祉部が関係課と連携し地域包括ケアシステムPTを形成し全庁的に取り組んでいかなければと考えるが見解を伺う。</p> <p>① 市内7か所及び基幹型地域包括支援センターのこれまでの取り組みについての評価を地域包括支援センターの意義と地域福祉に対する重要性を踏まえたくえで伺う。</p> <p>② 高齢者人口がますます増加し介護予防及び認知症早期発見が必要になってくると予想される中、地域包括ケアの中核施設と位置付ける地域包括支援センターの現在の体制をどう認識しているか伺う。</p> <p>③ 生活支援コーディネーターが現在4名の配置であるが今後の方向性を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ 今年3月本市は瀬戸市 ICT 戦略推進プランを策定し、業務実施における感染予防対策や行政事業の効率化を推進していくとし、この流れは今後ますます加速するものと予想される。地域包括ケアシステムに関しても、瀬戸旭も一やっこネットワーク等で ICT 化を構築しているが、地域包括支援センターの業務に関する ICT 活用推進の今後について、協議はされたのか伺う。</p> <p>⑤ 各地域包括支援センターに本市より払われる委託料の積算方法について課題と評価を伺う。</p> <p>⑥ 地域包括支援センターの人員体制、各地域の特性や事情、日々の業務を遂行する中で考える提案や意見を、地域ケア事業パートナーとして本市はどの様に聴取し、反映しているのか伺う。</p> <p>⑦ 地域福祉計画には地域包括支援センターの充実に引き続き取り組んでいくとしている。地域包括ケアシステムの深化を地域単位で推進していくために、中核施設である地域包括支援センターを対外的に充実させていくのは、本市の介護予防事業の必須事項と考える。その為には地域包括支援センターに対しての、現状を踏まえ妥当性を加味した委託料の拡充や、生活支援コーディネーターをはじめとした多様な人員体制の支援が必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。